

そら と にゆるい
空を飛ぶ ほ乳類！コウモリ

みなさんは「コウモリ」と聞くとどんな印象をもちますか。「夜に飛んでいる。」「血を吸う?」「怖い!」「気持ち悪い!」など、あまり良い印象はないかもしれません。でも知れば知るほど面白い動物で、私は大好きです。今回はそんなコウモリを紹介し

コウモリとは?

コウモリは私たちと同じほ乳類ですが、その中で、唯一、飛ぶことができます。手の指の間に皮膚を発達させて、翼にし、羽ばたいて空を自由に飛びます(図1)。また口から超音波を出して、はね返ってきた音波を大きな耳で感じとって暗闇でもぶつからずに飛ぶことができます。世界中で知られている1,300種類以上のコウモリのうち、血を吸うコウモリは南米にすむ3種類だけで、多くのコウモリは虫や花、木の実などを食べています。



図1.コウモリの五本指

富山のコウモリ類

冬は冬眠しているので見られませんが、春から秋にかけて、夕方に空を見上げると飛んでいるのを見かけます。富山では15種類のコウモリが見つかっています。その中で、私のお気に入りのコウモリを紹介し

春の夕方、博物館前の空で見つけたのはアブラコウモリです(図2・3)。アブラコウモリは別名をイエコウモリといい、昼間は家の屋根や壁の隙間に入って寝ています。夕方になると、近くの街灯や河原へ虫を食べに飛んでいきます(図3)。

また、山沿いのあまり使われていないトンネルに行ったとき天井にぶら下がっているものが! 双眼鏡で見ると鼻の大きなコウモリで、菊のような鼻の形からキクガシラコウモリ(図4)とよばれる種類でした。

暖かくなったらみなさんもコウモリをぜひ観察してみてください。(清水海渡)



図2.アブラコウモリ



図3.空を飛ぶアブラコウモリ



図4.キクガシラコウモリ

今月のかがくのギモン：コウモリは逆さで休んでいるとき、うんちやおしっこをどうやってするの? (答えは当館ホームページを見てください)